



こんにちは、小規模保育園ひまわりっこです。平素は子どもたちの成長と園の活動を温かく見守って頂き、有り難うございます。お陰様で「ひまわりっこ」となり、2年を終えようとしています。子どもたちにとって、“もうひとつのおうち”に近づけるよう、より良い保育を目指し、子どもたちの笑顔に元気をもらいつつ職員一丸となり日々の保育に奮闘しております。2月3日には、節分の集いを行いました。お正月が過ぎると、やはり保育園では少しずつ鬼の雰囲気が出てきます。「おに」と言うワードに敏感に反応する子、窓に貼ってある鬼のお面にバイバイと恐々手を振ったりする子と本番前から頑張っています。鬼のお面と豆を入れる枡を自分たちで作る、それぞれの個性がにじみ出る作品が出来ました。節分にはそれを身につけて鬼退治です。頼りにしていた2歳児の子どもたちも、はじめはびっくり泣いていましたが、そのうち泣きながらも勇気を振り絞り、鬼に向かって「鬼はそと！」と豆をぶつけてやっつける事ができました。今年の鬼はOBのお父さんが引き受けてくださいました。「子どもたちの泣いている顔を見ると、怖い鬼になれなかった」と言っておられた、優しい鬼さんでした。

にじ組(0歳児)のお友だちはみんなお誕生日を迎え1歳になりました。お天気の日には外遊びがひまわりっこの基本です。小畑川沿いを自由にいっぱい歩いたり、色々な公園に出かけ滑り台、ブランコやシーソー等々でしっかり身体を動かして楽しんでいます。出来ることが増え、活動の幅や視野も広がり、お友だちとの関わりも持てるようになってきました。

おひさま組(1,2歳児)では、外遊びの他にクッキングも楽しんでいます。春から筍や玉ねぎの皮むきをして野菜に触れたり、小さいプランターではありますが、栽培にも挑戦しました。夏は毎日お当番で水やりをして収穫も出来ました。そうして自分たちが、育てた野菜だと苦手なものでも少し食べてみようと思えるようです。今は大根と玉ねぎを育てています。秋にはみんなでお芋掘りに行き、そのお芋でスイートポテトを作りました。はじめはエプロンと三角がぎこちない感じでしたが回を重ねる毎に板についてきました。よもぎ団子、スイートポテト、クッキー、1月には芋きんとんも作ってみました。そして次はホットケーキにも挑戦します。ひまわりっこ子どもたちにはクッキングと言っても出来る工程は限られますが、一つ一つがとても興味をそそるようで、みんな真剣な表情で取り組んでいます。これらの経験は私たち大人にとって、些細なことに思えますが、ひまわりっこ子どもたちにとってはとても大きな事です。色々な取り組みを成し遂げた時には満面の笑顔を見せてくれます。その一つ一つの経験の積み重ねがこれからいろいろな事に挑戦しようとする力に繋がればと願います。

もうすぐ1年を終えようとしています。入園当初のみんなの姿を思い起こせば、本等に成長したと思います。新年度になると、新しい園へ巣立つ子、ひとつ進級する子どもたちですが、これからも地域の皆様には温かく見守って頂ければ幸いです。微力ですが、地域のお役にたてるよう努力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願いします。

小規模保育園ひまわりっこ 園長 土井さとみ

お知り合いの方をぜひ紹介してください!

保育士

(正規職員・契約職員)

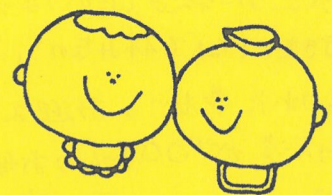
ひまわり保育園
 小規模ひまわりっこ
 同時募集!

園児増加に伴い、職員を募集しています。

- 正規、または契約職員、ご相談に応じます。
- 育児短時間制度あり。
- 産休、育休制度が充実、取得実績多数あり。
- 健診費法人負担!
- 研修費法人負担! 振替休日をきちんと取ってもらえます。
- 有給取得率85%以上!
- 京都府共済会、福祉医療機構退職金制度加入

職場の雰囲気はとてもよく、働き続けやすい環境です。

詳細は事務所、もしくは☎075-205-5337まで。



節分

ひまわりっこに鬼がやってきた!

2020年2月3日(月)



今年もやってきました…この季節が…。

0歳児さんにとっては初めての節分。1歳児、2歳児さんにとっては昨年度の経験を覚えている子もおり、「鬼さん、こわいなあ…」「今年こそ豆を投げるぞ!」などと様々な思いをもって迎えた節分の日でした。

まず、全員で集まってパネルシアターでの節分のお話。

これで少～し心の準備ができた子どもたち。

この日に向けてそれぞれのクラスで製作してきた鬼の帽子と豆を入れるマスをも身に付け、いざ、豆まきの始まりです!

まずはにじぐみ(0歳児)からスタート!真っ赤な大きな鬼がお部屋に入ってくると、一瞬動きが止まり、一人が泣き始め

ると連鎖反応で泣きの嵐に!保育者が「鬼は～外!」と豆を投げると真似をして投げようとする子どもたちでした。

いよいよおひさまぐみ(1、2歳児)のもとへ鬼が…。鬼がやってきたことに気づき、その場から動けなくなって保育者に駆け寄ったり

涙目になったりと初めは恐怖を感じていましたが、

今年の鬼さんは子どもたちと上手に距離をとってくれたのもあってか、逃げ惑う姿はなく、「よし!豆を投げるゾ!」と強い気持ちで鬼に戦おうとするおひさまぐみさんでした。

「鬼は～そと!福は～うち!」と、怖さを感じながらも精一杯声を出して豆を投げる姿に、心も体も大きくなったなあと感じる瞬間でした。

その日の給食は、「節分の巻きずしと焼きいわし」。体の中の鬼もやっつけようとしてしっかり噛んで食べ、おかわりもしてお腹が満たされホッとする子どもたちでした。



【保護者の方より・・・】

2歳10ヶ月の娘を持つ母親です。

ひまわりっこに入園したのは1歳1ヶ月の時
当時は昼寝の時間に布団で寝なくて先生がおんぶして寝かしてくれたり、初めての運動会では泣いてずっと先生にくっついていましたが1年後には泣かずに一人で黙々とくも木を登ったり降ったり…我が子の成長に驚き嬉しかったです。今ではよく喋る様になり、新しい服やタオルなど「これ先生に見せてあげる!」(上から発言!!)なんでも先生方に報告しがります。休みの日も保育園に行きたい!なんで休みなのか?「家より保育園がいいと言われた事も…」お迎えに行くと怒越しからお友達が「〇〇ちゃんのお母さん来たぞ!」と声が聞こえてきたりして顔を覚めてくれるのが嬉しかったりお友達も成長もクラスが2つしかないのを見とどけやすく、給食の先生にも気になったメニューの作り方を聞いたり、娘の食べる様子を教えていただいたりでき、アットホームな小規模保育園、ていねいな。今年の4月で卒園とさみしいですが最後まで宜しくお願い致します。



10月から、ひまわりっこに通園しています。

引越してきたばかりで、不安もありましたが、子どもも毎日楽しそうに園のお話をしてくれます。

先生方も、子どもの1日の様子をしっかりと見てくれていて、1日の出来事を沢山お話ししてくださいます。

私の子は、歩行が少し苦手だったり、手先も少し不器用なため加西さんをお願いしています。とても親身になって、子どもの事を見てくださりいつも感謝しています。

まだひまわりっこへは、少ししか通園していませんが、とても子どもの成長を感じます。

今、2歳児で後少しの間ですがこれからもよろしくお願ひします。

来年から、また新しい園に行くのが不安ですがここ数ヶ月の子どもの成長を見ていると、大丈夫だと感じています。

